

きずな

2008年 9月11日

NO 712

赤旗井原出張所

井原市井原町103 (TEL 62-6200)

8日、井原市議会9月定例会が開会しました。会期は22日までです。8日の開会日、瀧本市長が議案の提案説明を行い、その中で市政の状況を話しました。内容は次のとおりです。

協働のまちづくり市民推進室

「協働のまちづくり市民推進室」については、平成19年度は市内19箇所で開催し、市民の皆様との対話の中で、貴重な提案、提言、要望等をいただいた。本年度初回となる「協働のまちづくり市民推進室」は、去る8月29日に芳井会場で開催し、明治地区を核とした魅力ある農業の産地化をテーマに意見交換を行いました。

今後も残る12会場で順次開催し、地域特性を活かした個性豊かなまちづくりを進めるための役割分担や地域課題等について意見の交換をしたいと考えています。

ごみの有料化

近年、社会経済の発展に伴い、ごみは質的に多様化するとともにその量も増加し、ごみ処理が社会的な問題になっております。従来のごみ処理は、焼却や埋め立てを中心に出されたごみをいかに適正処理するかという点に重点をおいてきましたが、これからは、ごみの発生と排出をいかに抑制し、資源として活用するかという循環型社会形成の推進が求められております。また、平成17年5月には、国の基本方針として、一般廃棄物処理の有料化を推進することが、市町村の役割として位置づけされた。本市においても「井原市廃棄物減量推進審議会」から、家庭ごみの減量化や循環型社会の構築を目指すためには、有料化がより有効な手段であり、やむを得ないという答申をいただいております。このことは重く受け止めているところです。

現在、ごみの分別の徹底を図ることと合わせて、ごみの減量化と資源化の推進、ごみ費用の負担の公平性の確保を目的に、家庭ごみ処理の有料化を検討中であり、実施時期につきましては、市民皆様の負担を定めることとなりますが、平成21年度中を予定したいと考えております。

笑って健康元気アップ事業

本市が目指す健康寿命日本一の達成に向けた取り組みを着実に推進するため、本年度から三カ年の事業として「笑って健康元気アップ事業」を展開しています。本事業のうち、笑いの標語募集、笑っちゃオー笑顔の絵画コンテスト、笑いと健康に関する研修会、笑いの講座などを既に市内各地で開催しており、今後も笑顔の講師派遣事業実施や、笑いと健康講演会の開催など、誰もが無理なく気軽に参加できる事業を予定しています。本事業により、笑いの効能による健康づくりの推進を図るとともに、市民皆様の活気溢れる生活を応援していきたいと考えております。

市道路線の認定、廃止及び変更

平成17年3月の合併の際に、合併協定の中で芳井町及び美星町の既認定路線は現行のまま井原市に引き継ぎ合併後に見直すとされていたものを、今回、井原市道路管理規則に定める認定基準に基づき見直したことに伴い、新たに認定、廃止及び変更を行うものです。

その結果、見直し前には2,427路線でしたが、変更後には2,518路線となり、91路線の増加となりました。その内訳は、認定が509路線、廃止が418路線、変更が34路線となります。

ふるさと納税

7月11日からホームページに関連ページを設けたほか、8月号広報誌でも呼びかけ、お願いいたしました。この結果、8月末現在で6名の方から69万円のご寄付をいただいております。これらの方々の本市への思いに対しまして、心から感謝を申し上げます。また9月5日には、東京岡山県人会に出席し、その席で私から直接会員の皆様へ「ふるさと納税」への協力を呼びかけさせていただきました。市民皆様には、市外にお住まいの親戚や友人、本市にゆかりのある人々へ、今後も積極的な呼びかけをお願いいたします。

尚、本市議会に「井原市ふるさと応援基金条例の制定について」の議案を提出していますが、この基金は、本市の未来を担う子どもたちを健やかに育むための事業や、本市の美しい環境を守り後世に引き継ぐための諸事業実施に当てるためのものです。

四季が丘団地

現在、第一期分譲については、118区画のうち108区画の分譲ができ、第二期分譲については、84区画のうち28区画の分譲ができています。第一期と第二期を併せた分譲率は67%となっており、今後も引き続き分譲の促進に努めます。

お詫びと訂正＝先週の「きずな」の発行日と号数を間違っていました。8月28日を9月4日に第710号を第711号に訂正いたします。

2008年9月9日(火)「しんぶん赤旗」日刊紙より転載

京都市議補選 共産党、定数1で勝利 「後期医療」、暮らし争点 自民候補を破る

福田首相の退陣表明の中で行われた政令市議選として注目された京都市議南区補欠選挙（定数1）が7日投開票され、日本共産党の佐野春枝さん（61）＝新＝が、死去した自民市議の長男・棕田隆知氏（44）＝自新＝との事実上の一騎打ちのなか1万441票（得票率52・75％）を獲得し初当選しました。日本共産党の京都市議は、自民党（22人）に迫る20人（議席占有率29・0％）になりました。

午後10時、当選の報が伝わると京都市南区の事務所は歓喜の渦に。

佐野さんが姿をあらわすと、支援者らが抱きあい喜びを爆発させ、万歳を何度も繰り返しました。

佐野さんは「多くみなさんに支えていただき本当にありがとうございます。自民党政治に苦しめられる弱い人たちの声を市議会に反映できることを本当にうれしく思います。少しでも改善できるようにがんばりたい」と語ると、いっそう大きな歓声と拍手が沸きました。

選挙戦で自民党は、前幹事長の伊吹文明財務相、京都府連会長の谷垣禎一国土交通相の両閣僚を投入しテコ入れを強め、地域・団体締め付けと反共攻撃に終始しました。

佐野さんと日本共産党は、後期高齢者医療制度の廃止をめざし全力で頑張る決意や、国保料の引き下げ、子どもの医療費助成の拡充などの公約を訴え、「佐野さんに期待したい」（地域の有力者）など、支持政党や思想信条の違いを超えて支持を広げました。



（写真）激戦を勝ち抜き初当選を喜ぶ佐野さん（左から3人目）と、穀田恵二衆院議員（左隣）、井上哲士参院議員（右から2人目）ら＝7日、京都市南区

開票結果は次の通り。

当	佐野 春枝	61歳	共新	10,441票
	棕田 隆知	44歳	自新	8,195票
	蜷川 澄村	57歳	無新	1,157票

（投票率27・02％）